

平成 29 年度第 1 回土佐清水市総合教育会議 会議概要

■開催日時：平成 29 年 7 月 25 日（火）16:00～（16:45 終了）

■開催場所：市役所 2F 市長応接室

■出席者

構成員：泥谷市長、山本教育委員、山下教育委員、竹田教育委員、三浦教育委員、弘田教育長
磯脇副市長（オブザーバー）

事務局：中津学校教育課長、井上学校教育課長補佐、山下企画財政課長補佐（横山企画財政課長は研修のため欠席）

1 開会【泥谷市長あいさつ】

2 議事

（1）全国学力学習状況調査自校採点の結果について

【中津学校教育課長説明】

今年度 4 月 18 日に実施された「全国学力・学習状況調査」の自校採点の結果は、小学校 6 年生と中学校 3 年生の本市平均（2 教科 4 科目平均）が、いずれも県平均を上回る結果となった。

※「A」基礎、基本の問題、「B」は応用問題、発展問題といわれるが、今年は昨年度と比べて中学校の「国語 B」と、小学校「算数 A」が突出して良くなっている。中学校で国語、小学校では算数に特化した研究授業を行ってきた成果が現れてきたと思われる。教師もしっかりと取組み、児童生徒の基礎・基本が出来たことで、授業のレベルが高くなり、児童生徒の理解も深まってきたと考えられる。今後も更に良くなるよう学校現場とともに取り組んでいく。

（2）小学校再編基本方針について

【中津学校教育課長説明】

「土佐清水市立小・中学校統合実施プラン」に沿って、21 年度に小学校 4 校を統合。25 年度に当時 5 中学校あったものを中学校 1 校に統合した。旧清水町の 5 校を 30 年度統合に向けて取り組んで来た結果、幡陽小学校、足摺岬小学校については同意が得られず、30 年度統合については見送ることになった。30 年度統合にご理解をいただけなかった両校保護者の皆さんからは「児童数の推移から、いずれは統合を選択する時期が来ることは理解しており、今後も連携をとってほしい」とのご意見を頂いている。

今後も児童生徒の減少に伴い小規模化が進み、平成 29 年度から清水小学校を除く 6 校において複式学級を有することとなり、更に平成 34 年度には、清水小学校、三崎小学校を除く、全小学校において完全複式となることが想定されている。

児童生徒の健全育成を図るためには、学校教育の充実が重要であり、その為には、より良い教育環境の提供が必要であり、子ども達一人ひとりの個性が活かされ、「生きる力」の基礎となる知・徳・体のバランスのとれた力の育成が求められている。今後においても児童生徒の健全育成を主眼におき、児童生徒にとって望ましい教育環境づくりを推進するためには、小学校再編は避けては通れないものと考えており、引き続き、児童生徒数の推移を注視するとともに、学校の状況や、保護者の意向等を的確に把握していきたいという方針を平成 29 年 3 月末に決めた。

※「土佐清水市立小・中学校統合実施プラン」は議会の議決を要することになっている。現在のプランが 30 年度までの計画であるため、それ以降をどうするのかについて、今年度中に決定する。

統合見送りになった小学校については、耐震化の問題もあり、それを放置する訳にもいかない。子どもの命をどうやって守っていくのか、地元も交えて根気よく協議を続けていく。

(16:45 会議終了)